

県 中 広 報

事務局発行 (E-mail : h34@ken-chu-hiroshima.nss55.net)

(<http://www.ken-chu-hiroshima.nss55.net/>)

令和7年度教育者表彰（文部科学大臣）並びに広島県教育賞の受賞おめでとうございます！

県中校長会から2名の方が受賞されました。会員一同、心よりお祝い申し上げます。

文部科学大臣教育者表彰 呉市立吉浦中学校 校長 河本 英希 様

広島県教育賞（個人） 安芸太田町立加計中学校 校長 沖本 直樹 様

基本姿勢 “主体 信頼 挑戦”

広島県公立中学校長会 第4回理事会

令和7年12月12日（金）東区民文化センターにおいて、令和7年度第4回理事会を開催しました。

挨拶

開会にあたり、河北光弘会長から、①キャリア教育の視点に立ち、生徒一人一人の心に寄り添い、生徒の可能性を伸ばし、生徒の自己実現を支援する進路指導の充実について、②不祥事根絶に向けて主体となって取組を進めること、③広島県教育委員会への提言書について挨拶がありました。

報告

次の報告がありました。

- (1) 会務報告（9月～12月）…………… 林 健太郎 事務局長
- (2) 第75回広島県中学校長研究大会広島大会会計報告…………… 広島大会実行委員会
- (3) 広島県教育委員会への提言…………… 林 健太郎 事務局長

令和7年10月30日（木）、河北光弘会長、郷地忠幸副会長、林健太郎事務局長が、広島県教育委員会を訪問し、広島県公立中学校長会からの提言書を提出しました。広島県教育委員会からは、乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与 重森栄理様、教育センター所長（兼）個別最適な学び担当課長 蓮浦顕達様、義務教育指導課長 松尾真理様、教職員課人事管理監 宮田展也様、義務教育指導課教育指導監 小池絃太郎様をはじめ、提言に関係のある担当係長、主査を含め8名の方に対応していただきました。

【提言内容】

- 学校経営委員会
 - ・教職員の「働きやすさ」と「働きがい」の両立した学校環境の整備と風土の醸成を図る上での指導・助言
 - ・校務支援システムの導入、ICTの効果的な活用、人材や予算等の教育資源の確保等、環境整備の充実
 - ・部活動指導の負担軽減や外部指導者の活用、地域展開へ向けた環境整備の支援。
- 教育研究委員会
 - ・「児童生徒の学びをファシリテートする力」の向上と「個別最適な学び」の推進のための取組や人材育成のための研修の実施
 - ・「学習評価の妥当性・信頼性」を高めるための研修の継続
- 進路指導委員会
 - ・キャリア教育をマネジメントすることのできる進路指導主事等の人材育成（職能成長）
 - ・キャリア教育に係る研修等の充実（異校種間連携研修や産業界との研修等）
- 生徒指導委員会
 - ・生徒の自己指導能力を高めるための「支える」生徒指導の推進（関係機関連携とSSR等支援の充実）
- ※その他、「自閉症・情緒障害特別支援学級数の増加に伴う担当授業時数の増加」「部活動の地域展開に向けた対応」などを盛り込み説明しました。

この提言は、四専門委員会の調査・研究で整理された課題の改善に向けて、県の施策に反映していただくために提出するものです。次年度については、より確実な施策反映を図るため、提言書の作成時期を前倒しし、広島県教育委員会への提出時期を予算編成前の時期へと早める予定です。



- (4) 全日中第2回理事会報告…………… 河北 光弘 会長
 (5) 県公連第3・4回理事会・評議委員会報告…………… 郷地 忠幸 副会長
 (6) 県公連第4回不祥事防止対策特別委員会報告…………… 荒本 礼二 幹事
 (7) 四専門委員会報告
 学校経営：奥本 実 委員長 教育研究：大島 美紀 委員長
 進路指導：中山 勝志 委員長 生徒指導：坂田 正治 委員長
 (8) 県中学校教育研究会…………… 居川あゆ子 会長
 (9) 県中学校体育連盟…………… 村井 康敏 会長

議 事

- (1) 第76回広島県公立中学校長会研究大会西部大会 (2) 広島県公立中学校長会教育ビジョンの改訂
 (3) 令和8年度県中行事計画(案) (4) 部活動の推薦

不祥事防止対策

庄原、世羅・府中・神石、豊田・竹原、東広島、福山の各地区から「～不祥事の根絶に向けて～取組シート」の活用の報告、各地区の取組の好事例の紹介等がありました。

広島県教育委員会からの指導講話

特別支援教育課 特別支援教育指導係長 大野 寿久様をお迎えし、「特別支援教育の推進について」と題し、指導講話をいただきました。主な内容は、①特別支援教育について ②特別支援教育を取り巻く現状 ③共生社会の形成に向けた広島県におけるインクルーシブ教育 ④各校の状況共有について講話いただきました。「インクル COMPASS」((独)国立特別支援教育総合研究所)や「特別支援教育ハンドブック No.1 令和7年度改訂版」(令和7年3月広島県教育委員会)など資料の紹介も多数していただきました。

情報交換

中学校の統廃合・校名変更等、人材確保、いじめ防止対策について情報交換を行いました。

第25回広島県公立学校校長会連合会研究大会

令和7年12月25日(木)に上野学園ホールにおいて第25回広島県公立学校校長会連合会研究大会が開催されました。

はじめに、広島県教育委員会教育長 篠田 智志様から「広島県公立学校校長会連合会に期待すること」と題して、御講話いただきました。

続いて、地区活動報告として、安芸郡地区によるステージ報告、竹原市地区及び尾道市地区による紙面報告が行われました。

また、専門委員会活動報告として、生徒指導委員会によるステージ報告、その他の委員会による紙面報告が行われました。

続いて、特別委員会報告として、不祥事防止対策特別委員会報告が行われ、この中で、取組シートによるグループ協議が行われました。

最後に、日本ペップトーク普及協会 代表理事 岩崎 由純様から「言葉のちから 無限大!」と題して、御講演をいただきました。

閉会挨拶において、河北光弘会長が、本連合会の活動をさらに機能させ、広い視野と遠い視点をもって、校長が主体となり、新たなことに果敢に挑戦することで、日本一の教育県の実現を目指してまいりましょう、と大会を締めくくりました。



第5回四専門委員会

令和8年1月9日(金)、東区民文化センターにおいて「第5回四専門委員会」を開催いたしました。各専門委員会では、今年度の研究のまとめや活動報告等について確認が行われました。今年度も研究の成果を「研究収録」に掲載し、会員の皆様や関係機関に配布する予定です。

四専門委員会は、県中学校長の活動における要であり、まさに「宝」とも言える組織です。特にその研究活動は、各委員長をはじめ、委員の皆様のご尽力と情熱により、その成果は充実し、質の高いものとなっております。今後とも長年の歩みを継承し、各専門委員会のさらなる充実に邁進してまいりましょう。